



永平寺町

第30号

平成25年4月19日発行

議会だより



子育てと学校給食 ②ページ

まちを育てる道路整備 ③ページ

そこが聞きたい! (議員16人が一般質問) ⑬ページ

浄法寺山岳観光協会の皆さん

永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

永平寺町議会
facebook

押してね!



まちを育てる道路整備



機能補償道路
25年6月供用予定

中部縦貫道路
(福井北IC～松岡IC)
26年度供用予定

中部縦貫道路
(永平寺IC～上志比IC)
28年度供用目標

中部縦貫道路及び機能補償道路の経緯

渋滞緩和のため、一般国道416号バイパス計画を昭和48年に事業化し、昭和60年に牧福島～市荒川間、62年に国道8号線新保交差点～福井北IC間が完成しました。昭和62年の国の四全総によって高規格幹線道路網に、一般国道158号の自動車専用道路として中部縦貫自動車道が組み入れられ、そのルートは一般国道416号バイパス計画と並行した形で決定されました。このため生活道路の確保と、中部縦貫自動車道の資材搬入道路と機能補償道路が平成6年より着手し、用地交渉難航のなか整備してきました。中部縦貫道路は平成元年から今日まで幾多の難関を経て難航していた用地買収もおおむね完了し、福井北IC～大野IC間を平成28年度末の開通を目標に工事を進めています。又機能補償道路も平成25年には開通の予定となっています。

永平寺町を東西南北に渡って生活幹線道路6路線が整備され生活様式も大きく変わる事が想定されます。永平寺町には松岡地区、永平寺地区、上志比地区の3地区それぞれ



に恵まれた自然環境と、名所旧跡が数多くあります。永平寺町では、永平寺町総合振興計画に基づき3地区それぞれに地理的条件を最大限に活かす町づくりを目指しています。道路網の整備が進む中、全ての町民が自らの意思で自らの責任のもと、自分達の町づくりを「議会と語るう会」の中で意見交換し、町政に反映していきたいと思ひます。多数の参加をお持ちしています。

子育ての町やん
この三月議会では、町長の重点施策として、子どもの健全成長と保護者の負担軽減、そして、若者の定住促進を目的として学校給食の無償化が打ち出され、新年度からの実施が決まりました。

これまでも、本町では、中学3年生までの小・中学校では、今や当たり前のように給食が存在します。本町の学校給食については、一食250円～300円の負担で、専門家による栄養バランスが考えられている給食に大変満足もし、子どもからもおいしいという評判です。

〈付帯決議を出しました〉
しかし、給食の現場では、苦勞している面も多々あり、問題点も指摘されています。例えば調理員の配置では、正規職員が少なく、人数も現実には不足感が有ると聞きます。設備面でも衛生のことも含めてまだまだ不十分です。最近では、食物アレルギーへの対応が要求されています。教育長は、「責任を持って対応します。」と議会で表明していますが、生命に関わることであり、現場も神経質にならざるをえません。保護者との連携や学校あげでの取り組みが不可欠です。

議会では、学校給食無償化の制度を永く続けていくためにも、無償化が将来の町財政におよぼす影響が懸念されるため、毎年その影響、効果、問題点を検証し、財政の健全化の維持に努めることを付帯決議という形で強く求めました。(※付帯決議についてはP参照)

また、給食会計を公会計に移行すること、町内同一内容給食の提供や食材購入の一元化など課題が示されています。

私も議会の方々の様々な心配・要求に町は前向きな姿勢を示していますが、引き続き注視していきます。

新年度から学校給食無償化へ



子育てと学校給食

教育民生常任委員会

第3回定例議会議案

議案第3号 平成24年度一般会計補正予算	可決	議案第17号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	可決
議案第4号 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第18号 道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について	可決
議案第5号 平成24年度介護保険特別会計補正予算	可決	議案第19号 都市公園の設置基準等を定める条例の制定について	可決
議案第6号 平成24年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第20号 指定管理者の指定について	可決
議案第7号 平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第21号 福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	可決
議案第8号 平成25年度一般会計予算	可決	議案第22号 指定管理者の指定について	可決
発議第1号 議会第8号平成25年度一般会計予算に対する附帯決議の提出について	可決	議案第23号 松岡中学校普通教棟耐震補強工事の請負契約締結について	可決
議案第9号 平成25年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	議案第24号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第10号 平成25年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	議案第25号 教育委員会委員の任命同意について	同意
議案第11号 平成25年度介護保険特別会計予算	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第12号 平成25年度下水道事業特別会計予算	可決	平成24年請願第1号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書について	採択
議案第13号 平成25年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	発議第2号 生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書について	不採択
議案第14号 平成25年度上水道事業会計予算	可決	請願第1号 「日本軍『慰安婦』問題の1日も早い法的解決、謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書について	不採択
議案第15号 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	可決	上坂君の議会行財政改革特別委員会委員の辞任について	許可
議案第16号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	可決		

議案への賛否一覧

議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(伊藤博夫)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井
議案第8号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
議案第9号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第13号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第20号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○
議案第22号	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	□	×	○
議案第25号	○	—	□	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年請願第1号	○	—	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
発議第2号	○	—	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×
請願第1号	×	—	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
委員の辞任	×	—	×	○	×	○	○	○	○	□	○	×	○	○	×	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等15件については全員賛成です。
 ※議案の詳細は、上記定例議会議案をご覧ください。



永平寺町議会議長

伊藤 博夫

基本条例に基づき 議会運営を進めます

町民の皆様におかれましては、日頃より、議会活動・議会運営に関心をお持ちいただき心から感謝申し上げます。

特に、昨年8月1日から施行しました「議会基本条例」に基づき町民が議会に参画し、町民と議会が協働する町民の視点に立った議会の実現に取り組んでおり、3月定例議会においては、理事者に反問権を、また、議員間での自由討論による少数意見を出来るだけ取り入れ合意形成による議会運営に努力しているところであります。

今後、町民にわかりやすい議会にするために、「議会だより」に町民が関心を持つテーマを記載してまいりますので、各集落のふれあい会館や集落センター等で「議会と語ろう会」に参加していただき、皆さんの声をお聞きし、議会と共有し議論し合い、理事者に提案をまいります。

さらに本年度の取り組みと致しましては、ITを活用したシステムの最適化に取り組み「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」を進めます。

町民の誰もが議会のホームページやフェスブックにより、町民への情報公開やご意見、ご要望が簡単に聴視、記載できるよう周知し、町民総参加の「まちづくり」を願っております。

平成25年 第1回臨時議会報告

平成25年第1回永平寺町議会臨時会は、1月23日(水)に開催されました。審議された内容は、右のとおりです。
議長 伊藤 博夫

第1回臨時議会議案

議案第1号 平成24年度永平寺町一般会計補正予算	可決
-----------------------------	----

平成25年 第2回臨時議会報告

平成25年第2回永平寺町議会臨時会は、2月4日(月)に開催されました。審議された内容は、右のとおりです。
議長 伊藤 博夫

第2回臨時議会議案

議案第2号 永平寺温泉「禅の里」新築工事の請負契約締結	可決
--------------------------------	----

平成25年 第3回定例議会報告

平成25年第3回永平寺町議会定例会は、2月26日(火)～3月18日(月)まで21日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町教育委員会委員に、永平寺町轟 松倉勝秀氏、永平寺町東古市 宮崎義幸氏が任命同意されました。

また、人権擁護委員候補者として、永平寺町松岡芝原 朝倉昌紀氏の推薦に同意しました。

その他、議会行財政改革特別委員会の上坂久則議員の辞任を許可しました。
議長 伊藤 博夫

議案への賛否討論

議案第8号
平成25年度
一般会計予算について

反対討論 金元 直栄

町民に必要な予算は認めるが、町の振興計画にもない事業が20もあつたり、学校給食無償化や松岡中学校第2体育館計画も定例会直前に示されるなど、議会軽視は一貫してただされていけない。消防庁舎、現在の計画は将来に禍根を残す。利用計画のない施設の耐震化計画も異常だ。工事発注も町内業者の経済対策が徹底されていない。高齢者福祉も多くが委託となつている点等々の理由で反対。

賛成討論 長谷川治人

予算決算常任委員会の中で、特に自由討議では述べ3日間（実28時間）をかけて十分論議を尽くし、意見書採択等を含め、議員各位には理解を得たものと認識する。

反対討論 上田 誠

今当初予算は住民生活に必要であり、基本的に反対するものでないが、
一、給食無償化により、（教育費の保護者負担軽減に異論は

ないが）財政面、食の安全安心、他優先課題など。
二、消防の再整備やサービス充実異論はないが、建設計画が永平寺支所の土地有効利用不備の面など。
三、松岡中学校第2体育館整備は教育の均衡性や必要性の度合いなど。
以上から認められない。

賛成討論 長岡千恵子
給食の無償化について給食に関して『安心安全』を求めているのであれば、給食調理室の改善や食物アレルギー児への対応が優先と考える。付帯決議をつけ意見書添付した。
松岡中学校第2体育館については武道が必須となり学校が必要であれば、国体のアツプ会場ということを除いても建設すべきと考える。

反対討論 松川 正樹

学校給食無償化に私の一般質問で出した17項目の疑問に満足する答弁はなかった。特に少子化対策や定住促進につながる具体策が示されなかったこと、その財源を消費税アップによる地方への還元分を当てにすることも不可解で、何よりも無償化は議会に

も教育委員会にも学校にもあまりにも唐突で、問答無用の体だ。住民も大変な疑問や不安を覚えている。

議案第9号
平成25年度
国民健康保険事業
特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

これまで町から、国保税の引き上げ抑制として2000万円の繰り入れがあつたが、これがなくなる影響や、今後の国保税の方向が示されていない。
特定検診の受診点検を保健師に行わせていること。国の約5000万円の国庫支出の削減は許せない。

賛成討論 長岡千恵子

団塊世代が退職の時期から5年を迎え、国民健康保険への加入者が増加している。退職後の加入の為、国保税は減少している。
増加傾向にある国民健康保険加入者に対応していくには、本予算が必要と考える。

議案第10号
平成25年度
後期高齢者医療
特別会計予算について

反対討論 金元 直栄

高齢者の医療制度は、目まぐるしく変わつてきて、個人も自治体もその負担を負わされていく。
国も差別的な医療制度であり、この制度は廃止するとしてきた。国はこの差別的な制度はなくし、その責任を果たすべきだ。

賛成討論 長岡千恵子

高齢化が進み、後期高齢者医療保険の加入者も増加している。医療費の個人負担1割を維持するためにも十分な手当が必要と考える。

議案第11号
平成25年度
介護保険特別会計
予算について

反対討論 金元 直栄

介護サービスは今や地域での生活に不可欠だ。一方、介護にかかわる不幸な事件は増えている。ところが、高齢者の実態を町が直接つかむ体制

はなく、高齢者や介護事業のほとんどを委託して、生活実態に合う対応ができていない。

賛成討論 長岡千恵子

介護事業は、永平寺町社会福祉協議会等に委託している。永平寺町社会福祉協議会において、施設介護から在宅介護への推進を行つていくが、実績に結び付いていないのが現状。65歳以上の介護人口も増加しているため、必要な予算と考える。

議案第13号
平成25年度
農業集落排水事業
特別会計予算

反対討論 金元 直栄

上志比地区の利用料金を従量制にすることで、利用料金が一気に32%の引き上げとなつている。
引き上げが一気となるのは問題だと指摘したが、町は聞く耳を持たなかつた。この引き上げは常識を疑うものだ。認められない。

議案第20号
指定管理者の指定について

反対討論 金元 直栄

温泉の管理等、この業者に指定するのは、温泉の設計の段階から選定が変更されてきたりと、この業者に決まってきた過程に問題があつた。

さらに本町の他の施設の管理にも絡むことから、この業者は認められない。

議案第22号
指定管理者の指定について

反対討論 金元 直栄

このような仕事は、町内の業者に管理させるべきで、どうして要綱どおり町内業者に仕事をさせずに町外業者にするのか。理解できない。

賛成討論 多田 憲治

指定管理者との契約は、金額提示のもと利益が出る事ばかり討議されているが、町の検査もあり、永平寺温泉の指定管理と同じく損失した場合指定管理者が責任を持つて対応するもので、今回の議案について賛成とする。

発議第2号
生活保護基準の引き下げはしないことなど国に求める意見書について

反対討論 齋藤 則男

生活保護費の引き下げについて、20年近くものデフレ状態の間、生活保護費の見直しはほとんど行われてこなかった。不安定就労や非正規化が進み、働き盛りの若い世帯や母子世帯等、低所得世帯と比較した場合、生活保護世帯の生活費のほうが高いという現象が生じている。生活保護費の引き下げはやむをえないと思ふ。

賛成討論 上田 誠

生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの「健康で文化的な最低限度の生活」を脅かし、最低賃金や年金などの各種制度の切り下げにもつながる。また、先進諸国の中でも日本の生活保護利用率はとても低い状況である。ここに生活保護基準の引き下げをしないことを国に求める意見書に賛成する。

反対討論 上坂 久則

国民生活の現況から承服できかねるため反対。国民の生きる権利として生活の最低保証は必

請願第1号
「日本軍慰安婦問題の「日も早い法的解決」謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書について

賛成討論 金元 直栄

日本軍による「慰安婦」問題は、女性の人権や人間の尊厳を回復する課題であり、国連の人権委員会やILO等からも再三この問題の解決を促す勧告を受けている。
本議会もぜひ、この主旨を採択し、国に意見書の提出を願う。

予算決算常任委員会審査報告

給食費無償化事業(8,800万円)、付帯決議を付けて

平成25年度当初予算 一般会計 84億2590万円

2月26日、当委員会に付託された平成24年度一般会計補正予算を、特別会計補正予算5件、平成25年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計予算7件について、去る3月7日から15日の5日間にわたり審議しました。

その結果、下の付帯決議^{※1}並びに意見書を提出しました。なお、委員会として全ての議案を可決しました。

※1「付帯決議」とは……議決された法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議。法的拘束力は有しない。

平成25年度永平寺町一般会計予算に対する付帯決議

1. 学校給食無償化事業は、将来の町財政に影響を及ぼすことが懸念されるため、毎年、この事業の財政への影響、効果、問題点等を検証し、町財政の将来にわたる健全化の維持に努めること。

平成25年度一般会計予算に対する意見書

平成25年度一般会計予算を審議した結果、次の事項を意見書として提出する。

1. 学校給食無償化事業について
 1. 各学校給食施設の状態整備を回り、児童生徒に安全安心な給食を提供すること。
 2. アレルギー児童への対応は、町がしっかりと責任をもってあたること。
 3. 期間を決めて事業の検証を行うこと
 4. 給食会計を私会計から公会計への移行を図ること。
 5. 食材の購入については、一元仕入れ・一元支払いを図ること。
2. 永平寺支所、開発センター耐震化実施設計について
 1. 永平寺支所、開発センター耐震化後の施設利用計画を早期に示すこと
 2. 永平寺支所の敷地内及び周辺部も含め、土地利用計画を早急に示すこと。
3. 予算全般について

総合振興計画に記載されていない新規事業が数多く、かつ、唐突に発表された。新規事業については、十分な審議期間を要するため、一日でも早く議会に説明を行うこと。

今後の予算執行にあたっては、上記の項目に充分留意してあたると共に、改善でき次第議会に報告すること。

詳細な審議の一部は下記の通りです。

24年度3月補正予算

福祉保健課

問 低所得者の定義とは。
答 住民税の非課税世帯を低所得者とする。

子育て支援課

問 幼児園の広域入所負担金の理由とその手続き方法は。
答 町外に住所のある子どもを預かる場合で、保護者の仕事の都合や永平寺町内の実家へ出産する場合である。手続きは、保護者は現住所の市町に相談、当該市町より本町に相談がある。保育料は現住所の市町へ支払、本町は国の基準により期間分を請求する。

企画財政課

問 給食費無償化で財政は給食費が増えたと、経常収支比率が高くなる。財政は持つのか？
答 中期財政計画で、本町の平成23年度の経常収支比率は81.6%、平成25年度は81.5%、

25年度当初予算

水地として利用している。問 河川公園指定管理。町内造園業者の育成をしてはどうか？
答 公募で決めていく。

農林課

問 そば・小麦は補助の対象か？
答 そば・小麦は出荷奨励金の対象。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

環境課

問 動物の死骸処理料が93万円計上されているが、高いのではないか。
答 道路上で交通事故等で死んだ動物の死骸を、業者に委託しているための処理料である。

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうするのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

平成33年度迄の財政計画を示せ!

問 算定替えの今後の見込みをデータで。
答 平成28年度迄は中期財政計画のとおり。平成29年度以降は、財政健全化は確保できるものと考えており、財政計画の推計をお示しする考

監理課

問 今から、消防庁舎の有効利用を検討すべき！
答 2階を事務所として、1階は公用車の駐車場として活用したい。

永平寺支所

問 支所2階の改修内容は？
答 支所2階のサーバールームの空きスペースに1部屋(85㎡)を計画。

税務課

問 コンビニ手数料60円/件を、窓口払いした納税者に還付できないか？
答 平成22年度より廃止となった全期前納報奨金制度とは異なり、納税額の大小にかかわらず、納税者が1件当たり60円の還付を望むか疑問に思う。

環境課

問 動物の死骸処理料が93万円計上されているが、高いのではないか。
答 道路上で交通事故等で死んだ動物の死骸を、業者に委託しているための処理料である。

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうなのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうなのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうなのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうなのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

平成28年度は83.5%となつている。学校給食費の無償化について、平成23年度決算を基に、8800万円を新たに扶助費として組み入れた場合、1.4%増加するものと推計。財政状況は、行財政改革により、人件費の削減、公債費の抑制、事務事業の見直しなど、経常収支比率は85%以内と推計しており財政の健全化は確保できると判断している。

子育て支援課

問 児童手当に所得制限があり、該当者はそれほど多くない。町単独では考えられないか。
答 児童手当は国の方針。町単独で所得制限の変更は考えていない。

農林課

問 安全講習・救命講習は町で行う。プールの監視員は全て警備会社に委託する。給食費無償化は特集記事(2・3ページ)に記載してあります。

建設課

問 ファミリーパークのグランド横の部分の活用は？
答 コンクリート舗装し、遊

福祉保健課

問 社会福祉協議会への補助金が370万円増額したのはなぜか。
答 経営基盤の強化を図るため、公認会計士・税理士による経営・会計指導を受ける。マイクロスバスが16年経過しているための入れ替えを考えている。

消防

問 永平寺中地区の車庫新築場所はどこか。
答 花谷地係の機能補償道路沿いに計画。

住民生活課

問 国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金2000万円がなくなるが、その対応はどうなのか。
答 近年の医療費の伸びの大半は退職被保険者分であり、一般財源への影響は少ないが、今後、健診等に力を入れ医療費抑制に努めたい。

学校教育課

問 松岡中学校第2体育館(武道館)の広さは450平方メートルとしているが、この大きさで設計するのかがもっと大きくしないのか。
答 武道館としての建物は450平方メートルで、敷地の関係もあり検討する。

新型インフルエンザ等 対策本部条例化決定!!

総務常任委員会
委員長 長谷川治人

本委員会に付託された案件は慎重審議の結果、次の通り。

○「新型インフルエンザ等対策で」
議案第15号 永平寺町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定



レンガ館周辺の現状

新型インフルエンザの発症に関して、町民の生命・健康保護等に及ぼす影響を最小限に食い止める為のもの。……… 全員で可決

○議案第21号 福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更

平成24年度から電子計算組織の共同処理業務が、福井市を除くあわら市、坂井市、永平寺町の3団体になり、組合議会の議員定数23人を20人とし、福井市の8人を5人とするもの。……… 全員で可決

○請願第1号 「日本軍「慰安婦」問題の一日も早い法的解決、謝罪と補償を求める意見書」提出に関する請願書

日本軍「慰安婦」問題について、日本政府において一日も早い法的解決を行い、国際的責務を果たすべきとの意見書。……… 多数で不採択

○その他
①ご当地ナンバープレート事業の報告
②永平寺口駅周辺整備事業の進捗状況の説明

地域密着型 介護施設の充実!

教育民生常任委員会
委員長 長岡千恵子

当常任委員会は3月12日に開催され、本定例会の付託案件3件、継続審議1件を承認しました。

☆永平寺町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

☆永平寺町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について

☆指定管理者（永平寺温泉 禅の里）の指定について
☆生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書を求める請願書について

勉強会の開催

1月21日、学校教育課長・調理員の出席を求め学校給食の実情について勉強会を開催しました。

2月14日、福井県社会保険推進協議会の出席を求め、生活保護の実態について勉強会を開催しました。



学校給食について勉強会

議論伯仲!! TPP

産業建設常任委員会
委員長 川治 孝行

3月13日より付託された

○永平寺町道路の構造の技術的基準等に関する条例の制定について

○永平寺町都市公園の設置基準等を定める条例の制定について

○TPP交渉参加への断固阻止に関する要請について

安部首相が聖域について交渉していること、また農家のみでなく、多方面にわたり本町への影響を考察する問題でもあり、採決の結果継続審議となりました。その他、

○永平寺町内におけるえちぜん鉄道の通勤者に対する運賃補助の件について。

○永平寺口駅から本山へのバスのアクセスが悪い。

○松岡地区にて中部縦貫自動車道と416号の連絡線は設けるべきでは？等、意見・質問が出されました。

1月29日には産業建設常任委員会で吉田郡農業協同組合との懇談会をもち、永平寺町の農業について意見交換をしました。



吉田郡農業協同組合との懇談会

永平寺温泉「禅の里」 7月オープンを目指して!

温泉利活用特別委員会
委員長 多田 憲治

当初25年4月オープンを目指し、永平寺温泉健康福祉施設の整備を進めてまいりました。しかし、昨年11月末建築請負業者の事業の行き詰まりが表面化し、工事が一時中断することとなりました。今年1月末、未完成部分の入札を執行し、福井市内の榊竹野組が落札し、現在6月末完成を目指して工事が急ピッチで進められています。

当委員会としても、早速、今日までの進捗状況、請負契約金額に関わる諸問題、また、運営を行う指定管理者の契約内容、今後の工程等を理事者に問いただし、3月定例会において指定管理者を福井市内に本社のある榊コーワに決まりました。理事者からの、オープン時期についての明言は避けられましたが、町民に一日も早くご利用いただけるよう施設の完成を目指し進めていくことで委員会も了承しました。



建設がすすむ健康福祉施設

「議員定数を現在の18名 議員報酬を現状」に決定

議会行財政改革特別委員会
委員長 川崎 直文



議員定数と議員報酬について、昨年9月より8回の委員会で検討・協議を行いました。近隣市町の定数・議員1人当たりの人口・報酬、民意吸収・監視・政策立案の議会機能、議員活動日数、委員長手当・政務活動費等について、昨年の2回の「議会と語るついで」でのご意見を確認し、検討・協議しました。

第13回委員会（平成25年3月14日開催）で次のとおり決定しました。

- ・議員定数は現在の定数18名
- ・議員報酬は現状

委員長手当、政務活動費は導入しない。来年度の7月の任期満了に伴う改選時に適用されず。

検討・協議、採決について本号の6ページに掲載しています。ご覧ください。

第13回の委員会に、町民4名の方が傍聴されました。ありがとうございました。

(12ページに詳細記事)

消防執務室は 開発センターから 新庁舎へ計画変更!!

消防署統合推進特別委員会
委員長 原田 武紀

1月末の委員会で、①新庁舎建設予定地の永平寺支所敷地の現地視察と②新庁舎車庫の上(当初案は吹抜)に2階を新設、指令センターと併設して執務室(当初案は開発センター2階)の設置検討の意見がでました。

①現地視察は2月4日の臨時会後に実施し、議員からは、町から示された「建物配置図」とはかなりイメージが違うという感想でした。

②の件については、2月19日の委員会で、新設庁舎の2階部分増設は、金額的に約5、6千万円の増になることが説明され、採決の結果、執務室は開発センター2階から新設庁舎の2階に移すことが決定されました。

今後は支所裏の駐車台数の増を含めたアクセス町道の整備が課題となります。



新消防庁舎予定の開発センター

そこが聞きたい! 問&答

一般質問

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。



上坂 久則 議員

問 永平寺温泉「禅の里」健康増進と町の活性化策

答 永平寺温泉は6月完成、道の駅 県許可

問 道の駅建設について県から正式な採択があったが、基本的な考え方については、
建設課長 地域の振興施設の中長期的な方向性、機能と運営を含む多面的な検討のため、委員会を設立したい。
町長 永平寺町固有の特色を持つ情報発信機能、地域活性化に活用したい。
問 交通網の全体的な見直しを。
総務課長 国の交通規制があるが、住民主体の運行になるように、国・県にも要請等の検討をする。
問 永平寺温泉「禅の里」を活かす施策として講座開設等の具体策は、
健康施設室長 月一回の

問 救急車出動要請への基準はあるのか。
消防長 現在はない。総
問 救急車出動要請への基準はあるのか。
消防長 現在はない。総
問 地球環境を守る観点から、困難を理由にするだけでなく、積極的に調査・研究すべきだが
農林課長 様々な問題点や費用面も含めて今後、検討する。



禅の里まちづくり講演会

予定で、健康増進・余暇活動・介護予防等を目的に開設する。
問 温泉の排熱利用の具体策は。
町長 成分の高濃度や維持管理コストの観点から困難である。
問 地球環境を守る観点から、困難を理由にするだけでなく、積極的に調査・研究すべきだが
農林課長 様々な問題点や費用面も含めて今後、検討する。
問 救急車出動要請への基準はあるのか。
消防長 現在はない。総
問 地球環境を守る観点から、困難を理由にするだけでなく、積極的に調査・研究すべきだが
農林課長 様々な問題点や費用面も含めて今後、検討する。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。

議会行財政改革特別委員会にて決定

議員定数は現在の18名 議員報酬は現状



議員定数と議員報酬について、議会基本条例に基づき8回の議会行財政改革特別委員会を開催し、検討・協議を重ねてきました。

- 委員会での検討、協議の内容は次のとおりです。
- ・永平寺町議会のこれまでの定数・報酬の変遷
 - ・近隣市町の状況
 - ・議会活動、議会機能、議員活動日数
 - ・政務活動費
 - ・平成24年5月、11月の「議会と語ろう会」でのご意見

平成25年3月14日の委員会にて再度、「議会と語ろう会」でのご意見を確認し、最終の検討・協議を行い各議員が意見を述べ、議員定数、議員報酬の採決を行いました。

議員報酬 については、委員長手当、政務活動費も合わせて検討・協議し、意見は次のとおりです。

- ・議員定数が現在の定数18名であり、報酬は現状とする。また、委員長手当、政務活動費は導入しない。
- ・行政職員の給与は削減されている。議員報酬も削減すべき。
- ・委員長の職務、活動を考慮し手当を導入する。
- ・次回の改選から議員活動に必要な政務活動費を導入する。

以上の意見をふまえ、採決の結果、

- ・議員報酬……………現行のまま
- ・委員長手当……………無し（現在も無し）
- ・政務活動費……………無し（現在も無し）

に決定しました。

議員定数 についての主な意見は次のとおりです。

■現在の定数18名の意見

- ・二元代表制における監視機能を維持するには、現在の定数が適正である。
- ・「議会と語ろう会」で「地域によっては、過疎でさびれていくばかりである。町民の声を行政に反映させるには議員が必要である。の意見があった。民意吸収機能の維持において削減すべきでない。
- ・議員定数の削減について地域間の温度差が生じている。議員定数を削減するまでには至っていない。
- ・議員1人当たりの人口の指標を基準とし、他町との比較で現在の定数とする。
- ・活発な議会運営、常任委員会の機能を維持するには、現在の定数18名。

■削減の意見

- ・議会改革に取り組み、議会自らも努力し削減すべき。
- ・地区の要望は、区長会、自治会等で吸収し、他地区との公平性のもと行政へ要望する仕組みとし、議員定数を削減する。
- ・「議会と語ろう会」等での民意吸収が進められている。削減できる。

以上の意見をふまえ、採決の結果、

- ・議員定数……………現行のまま18名

決定した議員定数18名は来年7月の任期満了に伴う改選時に適用されます。

議員定数・報酬等の採決一覧 (○賛成、－欠席、弔 弔事)・議長(伊藤)、委員長(川崎)は採決に加わらず

		小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井	採決数
議員定数	現在の18名	弔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
	削減				○								○	○			4
議員報酬	現状		○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	11
	減額											○	○				2
委員長手当	導入せず		○	○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	11
	導入					○							○				2
政務活動費	導入せず		○	○	○	○	○	○	○		○				○	○	10
	導入											○	○	○			3

問 高校生の通学定期料金の町内統一化を！

答 定住も含め、どういう形で支援できるか考えていきたい



多田 憲治 議員

問 合併して7年が経過するが、児童・生徒数を見ても松岡・永平寺・上志比は地域差がある。高校生時代の通学定期購入は、誰もが大変な出費期間である。高校生が町の補助10%込みで福井市へ通う場合、えちぜん鉄道松岡駅と竹原駅では、月で換算すると4060円差がある。24年実績で松岡駅から福井駅の3ヶ月定期代2万9340円以

上の生徒分を全額補助すると、年間の総額は、**商工観光課長** 24年度で約667万円である。



山王駅からの通学の様子

問 児童、生徒数1700人の給食費は年間約8800万円。この金額は野菜等の賄い材料のみで、調理器具・光熱水費・調理員手当等献立にたずさわる予算は1億4500万円以上計上されている。自校給食での9個の鍋では経費がかかるのは一目瞭然。精査しなければ

に、人件費等の削減、食

の安心・安全の効果が出てくる。衛生的なドライシステム導入のもと、食中毒予防、アレルギー食対応、親子食育体験、また、災害時の配食の調理場を兼ねられる給食センターを近い将来建設する考えはないのか。

答 現在は学校給食センターの建設は考えてない

問 食の安心で安全面から学校給食センター建設の考えは？



上志比給食センター内

孫末代まで取り残されてしまう。今議会のサブライズ予算、給食費無償化は子どもを持つ家庭の均等の支援であり評価するが、将来へ向けての管理のコスト削減策が見えない。「借金は将来の若者につけを回す」というように、人件費等の削減、食

問 小中学校耐震Bランクに対する町の方針は!!

答 校舎等の大規模改修時にIS値の向上を図りたい



原田 武紀 議員

IS値とは... 建物の耐震性能を表す指標である。

- ①地震力に対する建物の強度
- ②地震力に対する建物の靱性(変形能力、粘り強さ)が大きいほど、この指標も大きくなる、すなわち耐震性能が高くなる。

IS値の目安(平成18年1月25日 国土交通省告示第184号による)

- Is<0.3 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
- 0.3≤Is<0.6 地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
- 0.6≤Is 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

文部科学省では、公立学校施設の耐震改修の補助要件として、地震時の児童生徒の安全性、被災直後の避難場所としての機能性を考慮し、補強後のIs値がおおむね0.7を超えることとしている。

県の耐震診断基準Bランク判定とそのIS値

・松岡小学校 南校舎 (0.47)	東棟 (0.66)	西棟 (0.52)
・吉野小学校 体育館 (0.68)	・御陵小学校 普通校舎 (0.50)	

問 本町の小中学校の耐震補強工事は、補強緊急度A(高い)のEとDランクは、平成22年度で完了、緊急度BのCランクも、1月補正予算で平成25年度中にはすべて完了する。

学校教育課長 BランクでIS値が0.7より低い建物は、県の指導でIS値は基準に満たないが、耐震補強工場の必要はないと判断している。県は会計検査院の実地検査でも、この回答をしている。ただ、今後実施される校舎等の大規模改修時には、IS値が基準を満たすようにしていきたい。

S値」が低い建物がある。私は最低限、国交省の告示にある地震に対して倒壊する危険性が低いとされるIS値の目安0.6以上には改修すべきと考える。

問 その後の国道364号バイパス計画は!

答 県が、今年度予備設計を実施



長谷川治人 議員

問 ①22年度後の整備計画はどうなっているか。
②福井銀行永平寺支店から永平寺口駅方面を延長し機能補償道路に連結しては。消防庁舎(永平寺支所)との関連も含み。
③国道364号線期成同盟会の活動の中に組み入れて整備促進を。
建設課長 ①県において永平寺東インターチェンジか



レンガ館から機能補償道路方面

ら国道364号バイパスに至る間の予備設計を実施中。この測量結果を参考にルート検討に入る。
②県の調査結果をもとにえちぜん鉄道の踏切改良も含めて検討していく。
③同盟会との関係もあるが、まずは県と十分検討する。

問 消防水利の確保は!

答 基準域にある

問 ①当町の消火栓、防火水槽の数は。
②消防水利の基準は満たしているか。
③地震の際、防火水槽は大丈夫か。

問 長崎市グループホーム火災での緊急査察結果は!!

答 「りんごの木」査察では設備不備なし

問 2月初め、長崎市の認知症グループホームで、高齢者数人が死亡する火災事故が発生した。同事故では、過去にも自力での避難が難しい高齢者が犠牲になる悲劇が繰り返されている。本町では類似施設の緊急査察を実施したと思う

が、結果はどうだったのか。
消防長 総務省消防庁の指示で、認知対応型老人共同生活援助事業施設の松岡松ヶ原の「グループホームりんごの木」の緊急査察を実施、結果はスプリンクラー等設備の不備はなく良好でした。

④今後の計画は。
消防長 ①消火栓1、310ヶ所、防火水槽40m²級233ヶ所、60m²級16ヶ所、80m²級2ヶ所、100m²級1ヶ所、合計252ヶ所。
②本町における必要基準数は435で、公設消火

栓並びに40m²以上防火水槽合計432となり、ほぼ基準域に。
③現在255の防火水槽の内、耐震構造は70ヶ所(全体の27%)。
④老朽改善と併せ、必要箇所には設置していく。

その他、国・県の補助制度については、平成18年の三位一体改革により廃止され、交付税措置に改正された。

問 本町の「少子化対策」取り組みは？

答 今までの事業を検証し
総合的施策を講じたい！



小畑 傳 議員

問 これまでの「少子化対策」は、子育てに困っている人を助ける「子育て支援」の対症的な施策が主流である。しかしながら子供の増加には結びついていないのが現状だ。「少子化対策」とは本来、子供を持ち家庭を築くという人間の根っここの部分が対象と言われている。どうしたら良いのか真剣に考える必要があるのかと思うが。

町長 「少子化対策」はまちづくりの基本的な課題だと思っている。これまで宅地分譲、若者定住促進支援事業などにより若い世代の定住促進を行うなど「少子化対策」は総合的に取り組んできた。また、婚活のイベントなども行い町外からも来ている。ただ、なかなかつながらない難しいところもあり、県とも相談し工夫をしながら進めていきたい。

問 松江市では全小学校の屋外運動場の芝生化事業に取り組んでいる。これの着眼点は子供達の体的な観点ではなく手段であること

答 先進地を見て、今後検討していきたい！

問 小学校・幼稚園の外運動場の芝生化を



芝生の長畝小学校校庭

とだ 丸岡の長畝小学校でも砂塵防止の為に10年前から、芝生化に取り組んでいる。その外にも豪雨による土砂流出防止などの利点がある。まず屋外運動場の小さい幼稚園などでの取組みを提案したい。
子育て支援課長 子供達の成長過程において、自然と体を動かせる環境を高めるなど、心身の発達には絶対欠かせないものだ。現在は土の園庭だが、芝生化により安全に運動や遊ぶことができ、ケガの予防が図れるよい点があるので、検討していきたい。

問 永平寺町内の地籍調査について

答 地籍調査の地区要望は
何時でも受け付けます



川治 孝行 議員

問 永平寺町総合振興実施計画で、寺本・諏訪間・松岡吉野の地籍調査の現在迄の事業実績と現在の進捗状況及び今後の計画は。

役場に土地の位置を示す公図や登記簿が設置されている、何故現在の書類ではだめなのか。
農林課長 公図の多くが明治時代の地租改正時に作成したもので、土地の境界が不明確で不確定であるため、土地を明確化するものである。
問 地籍調査は永平寺町の町づくりにとどのよう役立つのか。
農林課長 土地の明確化により、私的所有権と公平で正確な税制の確立、災害復旧の迅速な対応、都市計画や公共事業の円滑化と町の計画的な土地利用が推進できる。

農林課長 15年〜17年で4地区19haが登記が完了し、19年より3地区49haが現在継続調査中である。
問 登記所及び法務局や

役場に土地の位置を示す公図や登記簿が設置されている、何故現在の書類ではだめなのか。
農林課長 公図の多くが明治時代の地租改正時に作成したもので、土地の境界が不明確で不確定であるため、土地を明確化するものである。
問 地籍調査は永平寺町の町づくりにとどのよう役立つのか。
農林課長 土地の明確化により、私的所有権と公平で正確な税制の確立、災害復旧の迅速な対応、都市計画や公共事業の円滑化と町の計画的な土地利用が推進できる。

問 中部縦貫道路の進捗状況は

答 28年開通に向けて
努力している

問 谷口く花谷、光明寺区間は道路からの汚泥水が家屋連担区域内を流れ河川や用排水路改修問題が生じると思われる。今後の対応は。

建設課長 原則的には河川に排水計画をしている。特に中部縦貫自動車道路排水は一時的な豪雨に対応するため、流量調整池や油水分離槽を



中部縦貫自動車道（勝山IC～大野IC） 開通式

問 設置し汚濁防止に努めている。
問 松本町長より提案理由の中で用地交渉について一部説明があったが現在の用

地交渉の進展は。
町長 永平寺東上志比間5.3km間おむねの地権者から用地取得の契約を頂き平成28年度開通を目標としている。

問 平成25年度の教育方針は

答 心豊かで生きがいと
活力のある社会を目指す

問 平成25年度の教育方針は。
教育長 地域の豊かな自然、伝統ある歴史や文化の中で自信と誇りを持ち、心豊かで生きがいと活力のある社会を目指し、①ふるさとの自然や伝統を尊び、ふるさとを愛する人を育てる。②みずから学び、考え、行動

し、活力あるまちづくりを目指す人を育てる。③生命を尊び、命を尊び、思いやりの心を持つ社会に貢献できる人を育てる。④スポーツや体験活動に親しみ、心身ともに健康な人を育てる。⑤家庭や地域の教育力の充実を図り、ともに生きる社会を築く人を育てることである。

問 町の財政、将来は大丈夫か

答 行財政改革を積極的に進め、
財源の確保、財政の維持を行う



齋藤 則男 議員

問 町の将来は大丈夫か。子どもたちにツケを回すことにはならないのか。公共料金や税金が高くなるのでは。今後の長期にわたる財政の見通しは。
企画財政課長 中期財政計画で事業に必要な財源

も含め方向性を示している。その中で人件費の削減、公債費の抑制及び経常経費、事務費等は、政策経費を含めた既存事業の見直しを図る等、行財政改革を積極的に進めることで、中長期的に財源の確保、健全な財政の維持ができるかと判断している。また、社会情勢の変化等に伴う国の制度改正や政策転換等が予想され、正確な情報収集に努め、必要な歳入財源の確保を積極的に行っていくたい。

問 協議会等の委員の任免について

答 意欲を持つてる方が大事だと思う

問 町には諮問委員会、協議会、数多くの委員会等があるが、委員の選任はどのように決定するのか。
総務課長 委員会の設置目的・特殊性を町としては重視している。専門性が必要な場合は大学の教授等にも参画していただいている。意欲を持って

おられる方が大事だと思う。町ではそれを考慮し、いろんな団体からも推薦を受けている。上志比地区、永平寺地区、松岡地区の地域間のバランス、女性の参画や若い人の参画等、町では十分考慮し、委員についていただいている。



長岡千恵子議員

問 学校給食を無償化にする 目的と効果は？

答 安心安全で子育てしやすいまちづくりは 若者の定住促進につながる

問 給食費を無償化にする年間8800万円の経費が必要になる。平成33年には合併算定替えて、約8億円の交付金が減少する。将来的にこの金額をどのようにして確保するのか。

企画財政課長 人件費の削減、公債費の抑制及び経常経費、事務費等の政策的経費を含め、既存事業の見直しを図るなど積極的に推進し財源の確保、財政の維持ができるものと考えている。

問 給食を無償化にするよりも「食物アレルギー児への対応」や「夏になると40度以上になる給食調理室の改善」など優先すべき事業がある。町の見解や今後の対応は。

学校教育課長 アレルギー



給食時間の様子

については校長会で話題となり、アレルギー対応の基本的な手順、疾患のある児童生徒への緊急的な対応について基準を作り、新年度から対処する。給食室の空調については調理器具等の修繕が優先しており、今後検討を進めてよりよい環境に努めていく。

問 給食室は食べ物を作る場所である。40度以上の場所で作られた給食が安心安全と言えるのか。食物アレルギーを持つ子どもの健全で丈夫な体を育むには代替食を提供する専門の調理師の配備や調理器具の整備、調理室の設備改善が不可欠である。定住促進について言えば給食の無償化より県外の大学に進学した場合の

問 国体に向け、準備室・準備委員会の設置が必要ではないか？

答 遅くとも平成26年度中には準備委員会を設立し、国体の開催に向け万全を期していきたい

問 平成30年開催の福井国体。永平寺町でソフト、ハンド、バスケットボール3種目が行われる。ハード面、ソフト面、どのような準備が必要になってくるか？

生涯学習課長 松岡中学校体育館では、アップ会場の整備や照明器具の増設、既設トイレや更衣室、シャワー室、部室を控室として改修。ふれあいセンターでは床面の補修。ソフトボール会場のゆめパークはグラウンド整地、臨時駐車場の整備。各会場には、仮設観



河合 永充 議員



岐阜国体仮設観覧席

問 予算的に大きな金額になると予想できる。計画的に基金等を積む必要があるのでは？

企画財政課長 基金については、検討していく。

問 ふるさと創造プロジェクトをきっかけに、若者連絡協議会の設立を

答 手順を踏み地域の活性化やまちづくりのためのやる気のある若者の組織化、連絡協議会の設立に向け努力したい

問 松岡織物会館周辺を 整備し、住民同士の交流

問 老人福祉施設の防火診断の1年間の回数は

答 3ヶ所の消防査察は年1回実施している



酒井 要 議員

奨学金制度が返済金額に工夫をすることにより効果的と考えるが。

教育長 アレルギー食や調理室の整備については財政面も考えながら改善していくべきと考える。

学校教育課長 奨学金制度は返済が滞っているという

う話も聞いている。給食の無償化は少子化や過疎化を食い止めるために各自治体が真剣に検討している。

問 可燃ごみ袋の大きさの見直しを

答 早い時期に準備

問 現在、ごみ袋は「大」と「小」の2種類。「中」の新設はできないか。

環境課長 早い時期に「中」が店頭に並ぶように準備する。

問 去る2月8日、長崎グループホーム火災をテレビで見て、大変悲壮感を感じた。4名の死亡者が出たが、体の不自由な方や身障者の方もいたと思う。火災はリコールが出ている加湿器が原因と報じられている。最近、80歳以上の方で身障者の手帳を受けている人が多くなっている。今は若年層は減って高齢者が手帳を交付されている。

消防長 2月8日に発生した長崎グループホームの火災原因がリコール製品の加湿器の可能性が高いことから、管内福祉施設を調べ、該当する加湿器はないとの回答を得ている。3ヶ所の消防の査察は年1回実施しており、施設内に従事している

り、施設内に従事している訓練も行っている。

問 こついった施設で火災が出たら、当然犠牲者は出る可能性がある。職員に対する指導が1、2回でよいのか。火災を出さないことが大前提であり、消防署の役割は大変

を通して地域の活性化、地域の魅力を発信する、ふるさと創造プロジェクト事業。県の要綱で協議会メンバーは若者4割以上となっていて、どのように協議員を選定するのか？

企画財政課長 町の広報

紙やホームページ等で周知するとともに、町内の青年グループや県大、福大の学生などにも広く呼びかけていく。

問 多くの若者の声をこの協議会でいかすことで、町政に対する関心と責任自身が生まれると思

う。次のそのまた次の世代にもつながる。そして壮年連絡協議会や女性連絡協議会ともつながっていく。今回この事業、永平寺町の若者が集う組織をつくるよい機会だと考える。

問 火災警報器は何年もつか、個々の点検は。

消防長 火災警報器はおおむね7年程はもつと言われている。

問 住宅用火災警報器をつけている状況は。

消防長 管内で設置パーセントは94.7%。

問 設置をして何年ぐらい感知するのか。

消防長 基本的に、電池がおおむね7年と指導してい



火災警報器



上田 誠 議員

対策は!!
商工観光課長 観光まちづくり計画の策定、東京駅等で大型映像によるPR放映、観光情報誌「まっふる北陸金沢版」に掲載し、当町の魅力を伝える。

観光地拠点づくりの推進で永平寺町の魅力向上を!!

観光まちづくり計画の策定と観光PR映像・観光情報への掲載などで

問 県の「観光まちなみ魅力アップ事業」に永平寺町門前が掲げられている。北陸新幹線舞鶴若狭道・中部縦貫道の開通も控え、今までのハード面からソフト面、情報発信PRが重要になっているがその

健康づくりポイントカード事業の推進で

問 町民の健康づくりについては、一般質問で健康体操とそれのケーブルTV放映、DVDでの推進策、またポイントカード制による後押しを提案させてもらった。今回企画事業内容は?

答 ポイントカード事業の推進で点数に応じて景品を贈呈する企画である。

給食費の無償化は義務教育費無償化への一歩か!

義務教育費無償化の一環とは考えていない

問 2月中旬、何の前触れもなく給食費の無償化が提案された。この件は憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とあるがこの一環なのか。父母負担が当然という意識が根強い中で、本町が無償化へ歩踏み出したことは高く評価する。課題もある、長く続くのか不安だし、無償化の根拠と目標を示すべきだ。



給食調理



金元 直栄 議員

に給食は、小中学校と全ての児童生徒にかかわることから、無償化を進めたい。少子化を補う施策や、若い人の定住に思っている。義務教育費の無償化の一端とは考えていないが、長く続けたい。

問 各種事業を進めるにあたり、後世に負担や課題を送りするな。永平寺支所周辺は今の消防庁舎建設計画で、古い開発センターを利用する

答 土地利用を考えての消防庁舎計画

問 土地と施設、利用計画のない進め方は後世へ課題の先送りだ!

「道の駅」は永平寺温泉の維持管理費の増額になるのでは!!

あくまでも別々の維持管理費と考えている

問 「道の駅」整備が示されたが、県と町の役割分担は?

答 やり業者の変化になるが。建設課長 類似施設との関連は十分協議していく。中部縦貫道利用客も来ると考える。

問 当該施設の維持管理費が町であり、永平寺温泉経費と合わせて増額となると考えるが。

問 町兼業禁止及び政治倫理条例はご存じか!

答 総務課で所管している条例

問 町民から「議員や町幹部の縁者が町職員に採用されている」「俺に頼めば町の入札に入りやるといいう議員がいる」などの声が寄せられている。政治倫理審査会を

松岡中学校第二体育館(武道館)の必要性は

武道の授業が必須となったため

問 年間8800万円もの事業であるから、期待できる効果と、そのための実施方法、課題等について具体的に示せ。

問 30年開催の国体で、バスケットボール、ハンドボール、ソフトボールを受け入れるのは、費用も人的支援もたくさん必要となる。なぜ小さい町が3つも受け入れるのか。

問 「道の駅」は大丈夫なのか

答

中部縦貫道の休憩施設としても利用可

問 中部縦貫道が開通することで416号の交通量が減少し、「道の駅」の利用者も減る。集客できる秘策はあるのか。

建設課長 上志比北イン

問 大気汚染PM2.5の影響と対策は

答

県の指示に基づき対応

問 PM2.5の本町への影響、対策。特に子どもたちが通う学校は、日中窓を開けて勉強している。その対策をどう考えているのか。

環境課長 県では観測地を6ヶ所に増設し、基準値を超えたとき、速やかに市町に対応の連絡を行う。町ではその指示に基づき対応する。

学校給食無償化事業の効果と実施方法は

現状維持のため息の長い施策に



滝波登喜男 議員

生涯学習課長 仮設スタンドを設ける費用が一番かかる。人的支援は住民の皆様のご協力をいただき、民泊や花いっぱい運動などを行っていききたい。

問 学校給食無償化事業は、現状維持のため息の長い施策としていきたい。

地デジ 092ch 行政チャンネル週間番組表 放送期間 2013年4月26日(金)~5月3日(金)

時	4月26日(金)	4月27日(土)	4月28日(日)	4月29日(月)	時
6	00 町長招集あいさつ①	00 予算決算常任委員会(1日目①)	00 予算決算常任委員会(3日目①)	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 多田憲治議員 川治孝行議員 齊藤則男議員	6
7	13 文字告知放送	07 文字告知放送	20 文字告知放送	44 文字告知放送	7
8	00 町長招集あいさつ②	00 予算決算常任委員会(1日目②)	00 予算決算常任委員会(3日目②)	00 一般質問(1日目③) 小畑博議員 長岡千恵子議員 河合永充議員	8
9	12 文字告知放送	20 文字告知放送	16 文字告知放送	35 文字告知放送	9
10	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会(1日目③)	00 予算決算常任委員会(3日目③)	00 一般質問(2日目①) 酒井要議員 川崎直文議員 渡邊善春議員 松川正樹議員	10
11	40 文字告知放送	02 文字告知放送	28 文字告知放送	47 文字告知放送	11
12	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 多田憲治議員 川治孝行議員 齊藤則男議員	00 予算決算常任委員会(1日目④)	00 予算決算常任委員会(3日目④)	00 一般質問(2日目②) 松川正樹議員 上田誠議員	12
13	44 文字告知放送	01 文字告知放送	00 本会議①	55 文字告知放送	13
14	00 一般質問(1日目③) 小畑博議員 長岡千恵子議員 河合永充議員	00 予算決算常任委員会(1日目⑤)	55 文字告知放送 00 本会議②	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員	14
15	35 文字告知放送	43 文字告知放送	08 文字告知放送	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員	15
16	00 一般質問(2日目①) 酒井要議員 川崎直文議員 渡邊善春議員 松川正樹議員	00 予算決算常任委員会(2日目①)	11 文字告知放送	05 文字告知放送	16
17	47 文字告知放送	00 予算決算常任委員会(2日目②)	00 町長招集あいさつ①	00 予算決算常任委員会(1日目①)	17
18	00 一般質問(2日目②) 松川正樹議員 上田誠議員	23 文字告知放送 00 予算決算常任委員会(2日目③)	13 文字告知放送	07 文字告知放送	18
19	55 文字告知放送	48 文字告知放送	00 町長招集あいさつ②	00 予算決算常任委員会(1日目②)	19
20	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員	00 予算決算常任委員会(2日目④)	12 文字告知放送	20 文字告知放送	20
21	08 文字告知放送	49 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会(1日目③)	21
22	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員	00 町長招集あいさつ③	40 文字告知放送	02 文字告知放送	22
23	05 文字告知放送				23

時	4月30日(火)	5月1日(水)	5月2日(木)	5月3日(金)	時
6	文字告知放送 (通常放送)	文字告知放送 (通常放送)	00 一般質問(2日目②) 松川正樹議員 上田誠議員	00 予算決算常任委員会(2日目②)	6
7	00 予算決算常任委員会(1日目④)	00 予算決算常任委員会(3日目④)	56 文字告知放送	23 文字告知放送	7
8	01 文字告知放送	00 本会議①	55 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 金元直栄議員	8
9	00 予算決算常任委員会(1日目⑤)	55 文字告知放送	08 文字告知放送	48 文字告知放送	9
10	43 文字告知放送	00 本会議②	00 一般質問(2日目④) 滝波登喜男議員	00 予算決算常任委員会(2日目④)	10
11	00 予算決算常任委員会(2日目①)	11 文字告知放送	05 文字告知放送	49 文字告知放送	11
12	56 文字告知放送	00 町長招集あいさつ①	00 予算決算常任委員会(1日目①)	00 予算決算常任委員会(3日目①)	12
13	23 文字告知放送	13 文字告知放送	07 文字告知放送	20 文字告知放送	13
14	00 予算決算常任委員会(2日目③)	00 町長招集あいさつ②	00 予算決算常任委員会(1日目②)	00 予算決算常任委員会(3日目②)	14
15	48 文字告知放送	12 文字告知放送	20 文字告知放送	16 文字告知放送	15
16	00 予算決算常任委員会(2日目④) 上坂久則議員 原田武紀議員	00 一般質問(1日目①) 上坂久則議員 原田武紀議員	00 予算決算常任委員会(1日目③)	00 予算決算常任委員会(3日目③)	16
17	49 文字告知放送	40 文字告知放送	02 文字告知放送	28 文字告知放送	17
18	00 予算決算常任委員会(3日目①)	00 一般質問(1日目②) 長谷川治人議員 多田憲治議員 川治孝行議員 齊藤則男議員	00 予算決算常任委員会(1日目④)	00 予算決算常任委員会(3日目④)	18
19	20 文字告知放送	44 文字告知放送	01 文字告知放送	00 本会議①	19
20	00 予算決算常任委員会(3日目②)	00 一般質問(1日目③) 小畑博議員 長岡千恵子議員 河合永充議員	00 予算決算常任委員会(1日目⑤)	55 文字告知放送 00 本会議②	20
21	16 文字告知放送	35 文字告知放送	43 文字告知放送	00 本会議②	21
22	00 予算決算常任委員会(3日目③)	00 一般質問(2日目①) 酒井要議員 川崎直文議員 渡邊善春議員 松川正樹議員	00 予算決算常任委員会(2日目①)	11 文字告知放送	22
23	28 文字告知放送	47 文字告知放送			23

テーマ以外のことでかまいません
皆様が普段から思っている
自由なご意見、お聞かせください!!
「町民の声」を町政に!

4月 24日(水) 午後7:30~

- 松岡公民館(神明1丁目) ●摂取寺(芝原2丁目)
- 西野中集落センター ●法寺岡集落生活改善センター

25日(木) 午後7:30~

- 栗住波集落センター ●下浄法寺ふれあい会館
- 竹原集落センター ●松岡薬師3丁目区民会館

26日(金) 午後7:30~

- 轟ふれあい会館 ●松岡領家集落センター
- 京善多目的集会センター ●大月集落センター

- ①議会報告 ②子育てと学校給食について
- ③まちを育てる道路整備について ④意見交換

議会 語り会

※ご都合のよい会場にご来場ください。

議会・各委員会の議員出欠状況
○：出席 ×：欠席 △：遅刻 ー：早退 ー：具外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑博	滝波登喜男	金元直栄	齊藤則男	長岡千恵子	原田武紀	川治孝行	川崎直文	多田憲治	上坂久則	長谷川治人	松川正樹	渡邊善春	河合永充	上田誠	酒井要	伊藤博夫
12月21日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月25日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月4日	議会広報特別委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月7日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月11日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月15日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月21日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月23日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月23日	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月30日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月30日	消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月30日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月4日	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月8日	議会行財政改革特別委員会	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月13日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月14日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月15日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月19日	消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月19日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月21日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月21日	議会運営委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月26日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月26日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月4日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月5日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月6日	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月7日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月8日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月11日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月12日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月12日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月13日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月13日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月14日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月14日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月14日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月18日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	29.5	32.5	28.5	29	36	33	31.5	36	32.5	27	33	35.5	31.5	32.5	29	29	22
	会議回数	31	33	29	30	36	33	34	36	33	30	33	36	33	33	29	29	22
	出席率	95%	98%	98%	97%	100%	100%	93%	100%	98%	90%	100%	99%	95%	98%	100%	100%	100%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様へ議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

浄法寺山岳観光協会

会長の大谷 進さん(67歳 上浄法寺)にお伺いしました。

会の歴史は昭和33年にさかのぼります。初代代表 関谷武夫氏(当時は福井市在住 昭和48年没)を中心に、山を愛する人たち数人が集まり、調査をしながら登山道の整備開拓に取り組むと同時に、名称の決定などを行ってきました。登山コースの1つ「つつじヶ原」コースは「関谷山道」と名付けられています。その後の中心メンバーは地元の山下均さんや西村嘉一さんらがあげられます。

会員は現在34名で、毎年4月の山開きや、春、夏、秋チェーンソーや草刈機片手に登山道の維持と確保に尽力されています。

浄法寺山の名前の由来は、平安時代に現在の上浄法寺に天谷山真言院浄法寺が建立されていたことにまでさかのぼります。その他「浄めの滝」「仏岩」「八人壁」など、落ち武者にまつわるものがいくつも言い伝えられていて、登山家と同時に歴史好きな方々をも魅了します。また現代版としては、ご当地ソング浄法寺山紅葉音頭があります。「♪♪紅葉娘が紅葉めまねく ここは天下の浄法寺山よ♪♪」で始まるこの歌は、地元栃原の方が

作詞作曲されました。今でもイベントの時に皆さんと一緒に唄ったり踊ったりしているということで本当に楽しそうです。また未来版としては、浄法寺山に関するDVDの制作も検討中です。高齢などで登りたくても登れなくなった愛好家の方々に楽しんでもらうということですが、一般の方にもPR拡大されそうで、乞うご期待です。



大谷会長だけでなく、地元の会員さんたちがここまでの熱心な活動に気持ちが突き動かされるのは、やはり偉大な先人が残してきたものを途中で投げ出すわけにはいかない、正直言ってつらいけど、たくさんの人に支えてもらいながら、とにかく後継者に伝えていきたいという思いからだそうです。

大谷会長は長らく地元消防署に勤めていた方で、今は他にもいろいろと活動されています。従ってどこにでも見つけられます。(神出鬼没?)どうか気軽に声をかけて、後継者の一人に立候補していただけると何よりです。輪が永平寺町全体に広がりますように!

(記 松川)



4月20日(土) 山開き

編集者のひと言

今年度一回目の「議会と語ろう会」を4月24日(水)〜26日(金)に開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

今回の「議会と語ろう会」で取り上げるテーマを、この第30号「議会だより」の2・3ページに特集記事として掲載しました。

今回のテーマは

「子育てと学校給食」

「まちを育てる道路整備」

です。特集記事をお読みいただき、皆様のご意見・ご提案をお聞かせください。

「議会と語ろう会」でいただいたご意見・ご提案、回答は、次の第31号「議会だより」でダイジェスト版として掲載します。

このように、「議会と語ろう会」と関連させ「議会だより」の編集、発行を行っています。

更に、つながる「議会だより」に取り組んでいきます。

(川崎 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 波邊善春
 副委員長 松川正樹

発行責任者

小畑 博・長岡千恵子
 川崎 直文・河合永充
 議長 伊藤博夫